

大崎地域を世界農業遺産へ

里地・里山の保全と大崎耕土の恵み⑥

vol.10 「積雪寒冷地を克服する米づくり」

大崎地域は寒冷地で、夏には太平洋側から冷たく湿った風「やませ」が吹き込み、過去400年の間に、冷害などの気象災害が100回以上記録されています。

この厳しい気候条件を克服し、暮らしの安定と食料供給を担うため、かつては、市や寺院での種籾交換を通じて、地域の気候にあった種子を選定し、現在の試験研究機関による耐冷性品種の育種へと引き継がれてきました。

宮城県では、寒冷な気候に適した育種に対応するため、1921年に宮城県古川農業試験場の前身となる「県農事試験場分場」が設置されました。

東北を中心に20万ヘクタールを作付し、全国第2位の大品種に成長した「ササニシキ」、耐冷性と食味を向上させた「ひとめぼれ」や「ささ結(東北194号)」、酒造好適米「蔵の華」を生み出すなど、絶え間ない育種の努力が続けられてきました。現在では、うるち米12種、醸造用米7種、もち米3種の多様な品種が、大崎耕土で栽培されています。

厳しい自然環境を克服する先人の米づくりに対する熱意と努力は、未来へ伝えたい大崎地域の大切な宝です。



▲ ササニシキ顕彰碑 (JR古川駅前)



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp



大崎地域の「宝」を再認識しました

2月13日、古川地域の芙蓉閣を会場に「世界農業遺産推進シンポジウム」を開催しました。500人を超える皆さんが参加し、国連大学上級副学長武内和彦氏の基調講演のほか、大崎地域の「宝」について事例紹介などを行いました。

今後も、世界農業遺産認定に向け、大崎地域の「宝」に関する勉強会などを行っていきます。

天地人

合併10周年・新時代への飛翔

十年一日の如く！
十年一昔！
あっといふ間の10年で、本市は平成18年3月31日に1市6町が合併し、この度、10周年を迎えました。

合併当初から、市民が主役の協働のまちづくりを進め、未来を展望し、地方創生を先取りして、確かな歩みを進めていくことができました。

この間、財政非常事態宣言と行財政改革、東日本大震災をはじめとした数度にわたる大規模災害に見舞われましたが、その都度、市民皆さんと共に立ち向かい、危機を乗り越え、宝の都(くに)・大崎を目指し、邁進してきました。地域づくり総務大臣表彰や日本計画行政学会計画賞最優秀賞受賞などは、その証左を示すものであります。

そして堂々の10周年です。この機会に合併10周年を振り返り、検証し、次なる10

年への飛躍の起点とすべく、第二次大崎市総合計画や産業振興計画、行政改革大綱を策定します。

同時に、市民皆さんと合併10周年を慶賀し、本市を内外に強くアピールするために、大崎市誕生10周年記念事業を行います。一端をご紹介しますと、市の花・市の木・市の鳥や市民歌の制定、NHKのど自慢や大相撲大崎場所、開運！なんでも鑑定団の誘致。記念映像の作成などを進めます。

また、今年度は、合併10周年の節目と同時に、震災復興まちづくりの発展期初年度であり、地方創生へのチャレンジ実践元年です。

市民の皆さん！一緒に合併10周年事業と新時代の飛翔に向けて、新たな挑戦をしていきましょう。



大崎市長 伊藤 康志

3月1日現在の人口 (単位: 人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,967	- 3	39,665	+ 3	77,632	0	30,215
松山	3,086	- 6	3,240	- 1	6,326	- 7	2,196
三本木	4,037	- 9	4,074	- 7	8,111	-16	2,682
鹿島台	5,910	- 7	6,312	+ 1	12,222	- 6	4,489
岩出山	5,573	-11	5,878	-13	11,451	-24	4,236
鳴子温泉	3,105	- 5	3,462	-14	6,567	-19	2,822
田尻	5,655	- 8	5,820	- 4	11,475	-12	3,586
市全体	65,333	-49	68,451	-35	133,784	-84	50,226

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

防火・交通安全

■ 火災発生件数 (2月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	8件	+ 3
林野火災	0件	0
車両火災	0件	- 2
その他火災	1件	0
合計	9件	+ 1

■ 交通死亡事故件数 (3月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	0件	- 1
死亡者数	0人	- 1

☎ 防災安全課 ☎ 23-5144

空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

3月14日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.05	0.04
三本木総合支所	0.07	0.08
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.06
田尻総合支所	0.05	0.06

☎ 防災安全課放射能対策室 ☎ 23-5144

山火事を防止しよう！

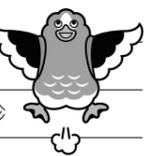
平成28年統一標語 「誓います 森の安全 火の始末」

春は山火事が発生しやすい季節です。山林付近で害虫駆除などにより火入れを行う場合は、必ず市の許可を受けてください。

☎ 農林振興課林政係 ☎ 23-7090

4月号の主な内容

- 3 大崎地域を世界農業遺産へ Vol.10 市長コラム 天地人
- 4 平成27年9月関東・東北豪雨に伴う宮城県の河川災害対策について
- 6 平成28年度の主な事業
- 8 平成28年度予算のあらまし
- 11 狂犬病予防注射を必ず受けましょう
- 12 市の「花・木・鳥」「市民歌(歌詞)」を募集します
- 14 地方創生への挑戦 持続可能な地域社会の実現を目指して
- 16 平成27年度教育委員会表彰
- 18 市政トピックス 3月の主な出来事
- 19 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち
- 20 十年物語 ～おおさき人の軌跡～ 蕪栗めまっくらぶ 高橋のぞみさん 鳴子の米プロジェクト 上野 健夫さん
- 21 地域づくりファイル ①古川地域長岡地区地域づくり協議会
- 22 オオサキプレイガイド
- 24 集会所整備事業費補助の申請 ほか
- 26 今月のお知らせ
- 34 4月の子育て支援情報
- 35 4月の育児相談・乳幼児健診
- 36 4月の休日当番医 ほか



平成19年から建設が進められてきた志田橋の架け替え工事が完了し、3月12日、主要地方道古川松山線志田橋開通式が開催されました。

旧志田橋は、いまから58年前の昭和33年に架けられました。道幅がせまく、歩道がないため安全性に問題があり、老朽化も著しい状況でした。

新しい志田橋は、道幅も広くなり、歩道も整備され、これまで以上に、災害に強く、安全で快適な橋に生まれ変わりました。

式典では、地元、下伊場野小学校の児童による太鼓演奏のほか、テープカット、くす玉開きなどで、開通を祝いました。式典終了後は、新しい橋の末永い安全・安心を念願し、地元の親子三代夫婦である高橋さんご一家を先頭に、多くの地域の皆さんで「渡り初め」を行いました。

今後、防災や観光交流などの面で、地域と地域、人と人をつなぐ「架け橋」となってくれることでしょう。




- 1 橋を埋め尽くすほどの人たちが渡り初めが行われました
- 2 地域の子どもたちも、小旗を手に新しい志田橋の開通をお祝いしてくれました
- 3 旧志田橋は、平成28年から平成30年までに撤去が予定されています

今月の表紙